

# 本多光太郎博士「金属之密林の大いなる開拓者」

本多光太郎博士は、1870年（明治3年）愛知県矢作町（現在の岡崎市）に生まれました。東京帝国大学に進み、卒業後、ヨーロッパ留学を経て、1911年に東北帝国大学教授となりました。1969年、現在の金属材料研究所の前身である臨時理化学研究所の研究主任となりました。

本多先生は、鉄や鉄合金の磁性の研究に取り組みました。その結果、当時としては驚異的に強い磁石鋼、KS鋼、新KS鋼を次々に発見し、鉄鋼研究を大きく進歩させました。1931年その業績から第1回文化勲章を受賞しています。その後も鉄鋼研究で輝かしい業績をあげ「鉄の神様」と呼ばれました。

また、本多先生は、「産業は学問の道場」という言葉を残しており、産学共同を重視されました。博士の尽力により多くの新しい企業が仙台に誕生しました。1949年には仙台市名誉市民の称号が授与されました。先生の精神は今も金属材料研究所に脈々と流れ、世界最先端の研究が続けられています。1954年（昭和29年）東京で永眠。墓碑には「鉄鋼の世界的権威者」と刻まれています。